

**コクヨ株式会社
コクヨファニチャー株式会社
株式会社都市デザインシステム**

～京都の今を表現するアート&カルチャーが集まる場所～
ホテル&アパートメント「ホテル アンテルーム 京都」4月28日開業
～築23年の学生寮をコンバージョン～

コクヨグループのコクヨファニチャー株式会社(本社:大阪市/社長:黒田英邦)の子会社である株式会社都市デザインシステム(東京都渋谷区/代表取締役社長:中川敬文)は、学生寮をコンバージョン(用途変更)して、「アート&カルチャーが集まる場所」をコンセプトとしたホテル&アパートメント「ホテル アンテルーム 京都」を2011年4月28日に開業します。

2010年10月に開業した「ホテル カンラ 京都(※1)」に続き、都市デザインシステムが企画・設計・空間デザイン・経営・運営を手がける「ホテル アンテルーム 京都」は、客室61室のホテルと入居用50室のアパートメントから構成しています。

ホテル空間は「アート」「音楽」「デザイン」などのカルチャーが集まり、発信されていく場(※2)であり、ホテルを訪れた方々やアパートメントで暮らす方々との自然なコミュニケーションのきっかけの場ともなります。また、アパートメントでは、ホテルという特別な空間を日常の舞台としながらも、室内はカスタマイズできる自由度を備え、自分らしいスタイルのある暮らしの中で、ホテルで行われるアートや音楽などのイベントへの参加、旅行者との交流を通して、刺激的な新しい暮らしに出合えます。

「ホテル アンテルーム 京都」は旅行者や入居者のみならず、京都に暮らす方々の新たなコミュニケーションの場として、京都の今を表現するアート&カルチャーをキーワードに、新しいスタイルのホテルを提案します。

(※1)ホテルカンラ京都オープンリリースURL <http://www.kokuyo.co.jp/press/2010/10/1096.html>

(※2)ホテルエントランスのアートピースは彫刻家・名和晃平(なわ こうへい)氏のディレクションの下、氏が主宰するスタジオ「SANDWICH(サンドイッチ)」で制作されたもので、今後、このSANDWICHとホテルアンテルーム京都は様々な形でコラボレーションを行っていく予定です。



写真:「ホテル アンテルーム 京都」エントランス

○ホテルオープン: 2011年4月28日(アパートメントは3月26日より入居開始済)

報道に関するお問い合わせ先は次の通りです。

コクヨグループ広報担当 TEL03-3474-6324 (平岩、海老澤)、TEL06-6976-1277 (佐々木、竹房、辻倉)

<概要>

■名称

「ホテル アンテルーム 京都」

■プロジェクト概要

1. 所在地: 京都府京都市南区東九条明田町7番
2. 交通: JR「京都」駅八条口より徒歩12分
地下鉄烏丸線「九条」駅より徒歩5分
3. 敷地面積: 3,055.07 m²
4. 延べ床面積: 6,134.64 m² (内ホテル 2,289.18 m² /
アパートメント 320.67 m² / 学生寮 1,278.95 m²)
5. 規模: 地上6階
6. ホテル客室数 61室 (15 m² ~ 30 m²)
/ アpartment室数 50室 (15 m² ~ 30 m²)
7. 付帯施設: レストラン・ギャラリー・ラウンジ
8. 設計: 株式会社都市デザインシステム
・コクヨファニチャー株式会社
9. 施工: 東海興業株式会社
10. 運営: 株式会社都市デザインシステム
11. URL <http://hotel-anteroom.com/>
12. ユーザーお問い合わせ先:
ホテルアンテルーム 075-681-6565 / 黒川



ホテル: 客室(ダブル)



ホテル: 客室(テラスツイン)



ホテル: ロビー



ホテル: ラウンジ



ホテル: レストラン



アパートメント(モデルルーム)

※家具付きのタイプと家具がないタイプがあります。

■コンセプト

京都の今を表現するアート&カルチャーが集まる場所
～変化を楽しむ新しいスタイルのホテル～

国内外を問わず、世界中から京都を訪れる方々のためのホテルとして、友人が集う場に遊びにきたような居心地の良さと京都の街へ出るための支度をする場を、また、アパートメントに暮らす方々のために、新しい刺激に満ちた日々を通じて次の出会いへとつながっていくような暮らしの場を提供します。

ラフで造りこまれていない空間に、アパートメントの日常(暮らし)とホテルの非日常(旅)が混在することで、常に変化していく“街”、“暮らし”、そして“カルチャー”が感じられる新しいスタイルのホテルです。

※「アンテールーム(anteroom)」:次の間(控えの間)

■概要

京都に集まるカルチャーを体感できる場所

【ホテル】

エントランスからラウンジ、ライブラリー、ギャラリー、レストランがゆるやかにつながるパブリックスペースは、「アート」「音楽」「デザイン」などのカルチャーが集まり、発信されていく場であり、また同時に、ホテルを訪れた方々やアパートメントで暮らす方々との自然なコミュニケーションのきっかけの場となります。世界のいろいろな場所から集まってきたものと京都がつながり、交わり、また新しいものが生まれる、そんな場となることを期待しながら、様々なイベントも開催していきます。

パブリックスペースや客室には京都を拠点として活躍するアーティストたちによる作品がおかれ、客室のアートワークは購入することもできます。さりげなく飾られているアートがそのまま自分の暮らしの中に持ち込める、少し変わったサービスもこのホテルの特徴です。

【アパートメント】

アパートメントでは、ホテルという特別な空間を日常の舞台としながらも、室内はカスタマイズできる自由度を備え、自分らしいスタイルのある暮らしの中で、ホテルで行われるアートや音楽などのイベントへの参加、旅行者との交流を通して、刺激的な新しい暮らしに出合えます。

また、アパートメント内には「SANDWICH」のレジデンス・プログラムの一環として「SANDWICH SATELLITE RESIDENCE」と称された一室を設置、今後、国内外からSANDWICHを訪れるアーティストが滞在、ここで様々な時間を過ごすこととなります。アクタスのサポートのもと、ホテルアンテールーム京都全体としても影響しあい、新たなカルチャーを発信していける場を目指していきます。

■デザインコンセプト

「友人であるアーティストの家」

カルチャーをキーワードとして集まる方々が、友人の部屋に飾られているアートに刺激をうけたり、あるいは気心の知れた友人の部屋で寛ぐような居心地のよさを感じられたり、といったシーンをイメージした空間デザインとしています。

ホテルとアパートメントが共存するホテルアンテルーム京都では建物全体をひとつの大きな住まいとしてとらえ、ロビーは大きなリビング、レストランはダイニング、ライブラリーは書斎、そして客室はプライベートな個室という位置づけで構成しています。

リノベーションを活かした、コンクリートや金属、ガラス、石など素材そのものの存在感に、古材を利用した家具や既存建物で使用されていた靴箱などの記憶を持つ備品をリメイクし、遊び心が感じられる照明で演出されたパブリックスペースは、アーティスティックな感性が刺激され、また同時にどこか懐かしいような雰囲気のある空間としています。

併設されたギャラリーでは、世界中から訪れた方々や地域で暮らす方々が、その場で一体となった音楽やアート、デザインを感じながら、ひとつの大きな空間で思い思いの時間を過ごすことで、自然に影響しあい、何か新しい発想のきっかけが生まれるような場となっています。

<ご参考>

■名和晃平氏プロフィール

1975 年生まれ。京都市立芸術大学大学院美術研究科博士(後期)課程彫刻専攻修了。京都造形芸術大学准教授。

「ものの表皮」への意識から発し、独自の「PixCell = Pixel(画素) + Cell(細胞・器)」という概念を機軸に、感覚や思考のメタファーとしてのマテリアルを多様な表現に展開する。2009年より京都・伏見区にクリエイティブプラットフォームとして「SANDWICH」を立ち上げ、自身の作品制作から、auのデザインプロジェクト「iida」や、ミュージシャンのアルバムアートワークやPV、ステージセットなど、携わるプロジェクトは多岐にわたる。近年の個展に『L_B_S』(メゾンエルメス8階 フォーラム、東京、2009)、『Synthesis』(SCAI THE BATHHOUSE、東京、2010)など。第14回アジアン・アート・ビエンナーレ・バングラデシュ2010最優秀賞受賞。2011年6月には東京都現代美術館で男性アーティストとしては最年少で個展を開催する予定。

URL www.kohei-nawa.net 「SANDWICH」<http://sandwich-cpca.net/>

■株式会社都市デザインシステム概要

- ・所在地 東京都渋谷区恵比寿南1-11-12 エビスA・Hビル4F
- ・創業日 1992年6月20日
- ・設立日 2009年2月26日
- ・代表取締役社長 中川敬文
- ・事業内容 ホテル・商業施設・住宅・オフィスの企画・設計・運営
- ・資本金 3億円
- ・株主 コクヨファニチャー株式会社(100%)
- ・URL <http://www.uds-net.co.jp/>